

会話分析から見た第二言語習得研究

- 第二言語習得 (second language acquisition; SLA) 研究の2つの流れ
 - 認知的視点からのアプローチ (cognitive perspective) - 主流派
 - 社会的視点からのアプローチ (social perspective) - 批判的挑戦者

会話分析から見た第二言語習得研究

- 「言語」というものをどう捉えるか
 - 認知的視点からのアプローチ
 - 「個」に属するもの
 - 言語の能力は「個人」の能力
 - 個人の能力を実験等で調べる

会話分析から見た第二言語習得研究

- 「言語」というものをどう捉えるか
 - 社会的視点からのアプローチ
 - 場面場面で複数の人間が協同で構築する(co-constructed)もの
 - 社会的に分散した(socially distributed)能力

会話分析から見た第二言語習得研究

- 認知的アプローチの問題点 (Firth & Wagner 1997)
 - views L2 speaker as a deficient (欠陥のある) communicator.
 - views native speaker as “ideal,” as “goal.”
- 社会的アプローチでは...
 - views L2 speaker as a competent participant in a community of practice.

会話分析から見た第二言語習得研究

- 社会的アプローチでは...

ある言語コミュニティにおける日常の活動に
第二言語話者がどのように「参加」
しているのか

そこで必要とされる知識やスキルにどのように
習熟していくのか

そのコミュニティにおけるメンバーシップを
どのようにして確立していくのか

会話分析から見た第二言語習得研究

- 社会的アプローチでは...

それぞれの「場面」に焦点を当て、そこでの相互行為を通じて、どのような「学び」や「習熟」の機会が作り出されるのかを明らかにする

会話分析から見た第二言語習得研究

- L2話者が関わるさまざまな場面での相互行為

➤ 教室内

- 授業内の教師と学習者のやりとり

- ペアワーク/グループワーク内での学習者同士のやりとり

- タスクがどのように理解され、実践されているか

- タスクデザインの有効性を検証

会話分析から見た第二言語習得研究

- L2話者が関わるさまざまな場面での相互行為

➤ 教室外

- 会話ラウンジ
- 地域のボランティア日本語サポートの現場
- 職場での日本語使用の現場

外国人介護士、歯科衛生士のトレーニング
理系留学生の実験現場における相互行為